

# 意見募集の結果について

参考資料 1

## 【意見募集の概要】

案件名	高山駅西地区まちづくり構想の策定について
募集期間	令和4年3月15日(火) ～ 令和4年6月30日(木) (108日間)
担当部・課	企画部 企画課

## 【集計結果】

意見提出人数	9 人
意見数	33 件

## 【意見及び検討結果等の一覧】

No.	項目	意見
1	まちづくり全体に関すること	マイカーの観光客が増えた現在でも、鉄道や高速バスで訪れる人々を迎える玄関口として果たす役割は大きく、観光都市の玄関として、来訪者にワクワク感を抱いてもらえる場所としたい。また、市内各地にある観光名所とのデジタルネットワーク・交通ネットワークによる案内窓口として中心的な位置づけとする。
2	まちづくり全体に関すること	登山初心者や地域住民にとっても「行ってみたい」と思わせる拠点を駅周辺に整備することは、「中部山岳の登山口としての高山」にとって重要である。
3	まちづくり全体に関すること	地理的に考えれば、高山は山間部に位置する孤立地域のため、今後予想される大規模災害を想定した、内柔外剛のまちづくりが必要と考える。
4	まちづくり全体に関すること	駅西地区に観光客などが一極集中することで、市民の日常生活に支障が出たり、古い町並周辺で展開している施設への集客を著しく阻害することないようにしてほしい。
5	まちづくり全体に関すること	駅西地区の再開発には、公共交通機関の利用者、身体的なハンデのある方、子育て世帯をターゲットにしたバリアフリーのまちづくり展開してほしい。
6	まちづくり全体に関すること	古い町並周辺は自家用車利用者、なかでもカップルやシルバー世代などゆとりのある世代をターゲットに、駐車場利用の促進やお土産に使えるクーポン発行などの複合的な施策で、人流を分散させる仕組みづくりが必要である。
7	まちづくり全体に関すること	駅西地区は場所は良いが、空家が目立つ。
8	まちづくり全体に関すること	駅を中心に東側が歴史的旧市街(保護区)で西側が現代的市街(生活商業区)の様なイメージとして、現代的な商業施設や分譲マンションを、東側の空家などは飲食店やバーなどにして、見ても遊んでも楽しいまちになってほしい。
9	まちづくり全体に関すること	駅西と駅東の対極の市街になると観光地として魅力的で市民も中心街に魅力を感じ賑やかになる。

No.	項目	意見
10	まちづくり全体に関すること	自然に感謝して生きる「腹八分目」のまちづくりを提案する。 人口減少の傾向が改善されることは当面難しく、いまを暮らす人たちの利便性や豊かさだけを優先するまちづくりは、次の世代への負の財産を残す危険性を伴うと考えられる。 物質的な豊さを追い求めるのではなく、自然の恵みに感謝し、共存共栄することを主体とした、そこそこのまちづくりを計画していくことが必要である。 そこそこ満足感「腹八分目がちょうどいい」の考え方がまちづくりにも言える。 30年、50年後の税収や世の中を考えたとき、現実的には右肩上がりは難しく、良くても横ばい、少なくとも忍耐が求められる時代が、高山だけでなく日本国内でも予想される。
11	まちづくり全体に関すること	大規模ではなくても、飛騨の匠の木工技術を生かして、地域の人たちに長く愛される町並みをイメージした計画立案や、修理保全をしていくことで、人を育て、文化を育てることに繋がる。
12	商業機能に関すること	ファミレスやカフェなどの飲食店がほしい。
13	商業機能に関すること	勉強などができるカフェスペースがほしい。
14	商業機能に関すること	小規模のものでも良いので駅に近いショッピングモールがほしい。
15	商業機能に関すること	飛騨ブランドの高品質な野菜や肉牛を県内外へお届けできるようになり、食の知名度が上がっている。さらに、春慶塗や一刀彫などの工芸品なども含めた飛騨ブランドが駅周辺で買い物ができるような商業施設があると喜ばれる。
16	商業機能に関すること 公園や広場に関すること	駅西地区は生活に必要な施設やお店(大手チェーン店等含む)、子どもやお年寄り、観光客がくつろげる緑豊かで広々とした公園等を整備した現代的市街地になると良い。
17	娯楽機能に関すること	市には娯楽施設が少ないため、複合施設の整備にあたっては、映画館を併設してほしい。駅周辺であれば、高校生やお年寄りも立ち寄りやすい。
18	文化・芸術機能に関すること	駅周辺に飛騨の匠の技術を体験できる施設を増やすことで、子どもが高山らしい文化を学べるようにしてほしい。
19	スポーツ機能に関すること	子どもの基礎体力、市民の健康保持等のため、まち中にランニングまたはサイクリングなどができる専用ロードを整備してほしい。
20	公園や広場に関すること	ポップ公園は交通量の多い車道にも出入口があり、小さな子どもが飛び出す危険があるため、駐車場側の出入口ひとつにするほか、車両が入れないように出入口に車両止めを設置してほしい。
21	公園や広場に関すること	ポップ公園は小中学生も利用しているため、遊びで走っている際に小さな子どもと接触しそうになったり、長時間にわたって椅子や遊具を占領していることがあるため、公園の面積を今よりも広げてほしい。
22	公園や広場に関すること	ポップ公園の歩道で、ベビーカーや小さな子どもが段差につまずくことがあるため、グレーチングや側溝の整備、その後の維持管理も含めた、ユニバーサルなまちづくりに努めてほしい。
23	公園や広場に関すること	ポップ公園内にマンホールトイレ設置する等、帰宅困難者対策にもつながる防災公園としての機能を持たせることで、災害時に安心して滞在できるようにしてほしい。帰宅困難者対策にもつながる。
24	公園や広場に関すること	ポップ公園は交流できる素敵な場であるが、安全面の配慮があると、市民が安心して利用できる。

No.	項目	意見
25	駐車場や駐輪場に関すること 公共交通機関に関すること	古い町並周辺の公共駐車場を廃止して、離れた場所に公共駐車場を置き、シャトルバスを運行することでまちなかの駐車場不足を解消するほか、狭い道路への大型バスの乗り入れをなくすことで、生活道路の落ち着きを確保する。
26	駐車場や駐輪場に関すること 公共交通機関に関すること	徒歩でまわりやすい歴史的市街地(特に宮川沿い)は、ノーカーであらゆる年齢層が安心して出向ける工夫(駐車場の整備、まちなみバス周遊など)をして、市民が中心部にわざわざ訪れたくなる環境づくりをしてほしい。
27	公共交通機関に関すること	高山駅西地区は、現在のバスターミナル機能と連携し、高山市内にある各観光施設へアクセスする為のハブステーションとして整備する。
28	公共交通機関に関すること	観光客が安心して駐車して、アクセスできる環境を整えることで、ゆっくり楽しめる滞在時間の長い観光都市を目指す。
29	道路に関すること	駅東地区は一部歩道が狭く自転車や車と接触しそうな場所があるため、古い町並の良さを保ちながら歩行者が歩きやすいまちになると良い。
30	その他機能に関すること	迎える側(地元住民)と迎えられる側(観光客)が共に過ごせる「憩いの場・交流の場」を整備する。
31	その他機能に関すること	駅周辺に「展望台」を整備することで人々の心を山々に誘うほか、「登山案内所」を整備して山々の情報を集積・発信する。
32	施設全体に関すること	太陽光、小水力、風力、バイオマス発電などを複合的に活用して、冬季期間でも暖房及び発電可能なシステムの導入、山から吹き下ろす風を活用した小規模の風力発電の設置など、災害時に市街地が機能停止することを防ぐため、再生エネルギーを活用した施設を整備し、環境循環型社会の推進をしてほしい。
33	施設全体に関すること	大規模な建物や意匠性を追求した複雑な建物は、後年になって維持管理費用がかさみ、メンテナンスが容易ではない。